

# ルック

第14号



- ◆ 一年頭のご挨拶
- ◆ UR都市機構と連携協定を締結
- ◆ 丑年職員からのメッセージ
- ◆ 飲み込む力を鍛える「嚥下体操」
- ◆ 地域講演会の開催について
- ◆ 地域医療連携室



## 《 病院理念 》

社会のニーズに応える安全で質の高い医療を皆様に提供するとともに良識ある人間性豊かな医療人を育成します。

# 年頭のご挨拶

新しい時代へ 共に育み

チームワークで取り組む 信頼の地域医療

明けましておめでとうございます。皆様には日頃から三島南病院へのご支援とご協力を賜り心よりお礼を申し上げます。

現在のコロナ禍において、感染拡大は第3波の真っ只中にあり収束の兆しすら見受けられない状況です。当院では、入院患者さんを感染から守り職員を含めクラスターを発生させないように最大限の対応を行っております。加えて、通常診療体制を維持することで、住民の方々の健康を守り、もって地域貢献が実現できるよう病院運営を行っております。

特定機能病院を持つ学校法人が運営する施設の役割として、当院では急性期、回復期から在宅までの医療を提供する体制を構築しています。

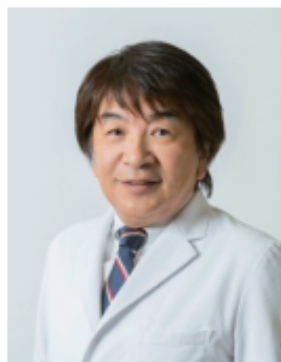
2021年4月には、学校法人の名称が「大阪医科薬科大学 Osaka Medical and Pharmaceutical University (OMPU)」に変更となり新たなスタートを切ります。医看薬の連携を一層強化し、互いに切磋琢磨することで共に成長しながら、より効果的なチーム医療を提供したいと考えています。

コロナ禍の厳しい病院運営の現状にあって、地域の方々の健康を守るために、これからも職員が一丸となって医療体制を維持、発展させていきたいと考えております。また、地域の他の医療機関と一層、密に連携することで地域医療の充実に繋がるものと確信しておりますので、医療に関するご相談は何なりとお申し出いただければ幸いです。

今年も引き続き当院へのご支援とご協力を、何卒よろしくお願い申し上げます。

病院長 木村文治

木村病院長が令和2年10月に  
厚生労働大臣から表彰を受けました。



ウィズコロナの時代を「誠実に粘り強く」

患者さんと共に歩む看護を目指して

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により人々の暮らしや働き方が大きく変化しました。特に医療現場においては、医療体制のひっ迫が問題となり、新年を迎えてもなお危機的状況が続いています。当院においては、大阪医科大学病院との連携を強化し、万全な感染対策に努めております。当院をご利用される皆さまには病院開門時間の短縮、面会制限などご不便とご迷惑をお掛けしており、ご理解とご協力に感謝申し上げます。

さて、今年の干支である丑は、農作業や物を運ぶときの地道な労働力として、人間の生活に欠かせない動物で、「粘り強さと誠実」の象徴とされていました。看護には、一人ひとりの患者さんを尊重し、その人らしく、そしてその人にとって自立した生活が送れるように多職種と連携して支援させていただく役割があります。今こそウィズコロナの時代を「誠実に粘り強く」患者さんと共に歩む看護が求められていると考えます。

今年こそは新型コロナウイルス感染症が早期に収束し、令和の年号に込められた和やかで美しい時代が訪れることを信じて願うばかりです。本年が皆さまにとって、幸多き一年となりますよう心から祈念いたします。

本年もよろしくお願い申し上げます。

看護部長 松本加奈



# UR都市機構と連携協定を締結

更に、ルネサンス



令和3(2021)年1月13日  
独立行政法人都市再生機構  
西日本支社

## 生き生きと暮らし続けられる地域づくりを目指して連携・協力 ～UR都市機構と大阪医科大学三島南病院が連携協定を締結～

独立行政法人都市再生機構（以下、「UR都市機構」といいます。）と大阪医科大学三島南病院は、玉川橋団地（大阪府高槻市）及びその周辺地域において、地域包括ケアシステムの構築に向け、令和3年1月12日（火）に連携・協力に関する協定を締結しました。

当地域において進む少子・高齢化を背景に、玉川橋団地にお住まいの高齢者への見守りや生活支援の必要性など地域課題を共有し、互いのノウハウや資源を活かして、多様な世代が生き生きと暮らし続けられる地域づくりを目指すことで一致し、連携・協力に関する協定の締結に至りました。

今後は、本協定に基づき、大阪医科大学三島南病院と連携し、健康に関する講座や相談会、地域交流イベントなどを通じて、UR都市機構が目指すミクスドコミュニティの実現に向け、玉川橋団地における「地域医療福祉拠点化」（詳細は裏表参照）の取り組みをより一層進めてまいります。

### ■本協定に基づく連携事項

- ・最後まで住み続けられる地域づくりに関する事項
- ・健康寿命延伸に向けた健康づくりに関する事項
- ・地域コミュニティの活動や活性化支援に関する事項

お問い合わせは下記をお願いします。

UR都市機構 西日本支社  
住宅経営部 ウェルフェア推進課 〈電話〉06-6969-9500  
総務部 総務課 広報担当 〈電話〉06-6969-9008

この度、当院近隣の玉川橋団地にお住まいの高齢者への見守りや生活支援の必要性など地域課題を共有し、互いのノウハウや資源を活かして、多様な世代が生き生きと暮らし続けられる地域づくりを目指すことで当院とUR都市機構が一致し、連携・協力に関する協定の締結を行いました。

当院が地域の健康増進のお役に立てられるよう引き続き努力して参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



UR都市機構 プレス発表

[https://www.ur-net.go.jp/west/press/lrmhph000001npvy-att/ur\\_20210113\\_osaka\\_kyotei.pdf](https://www.ur-net.go.jp/west/press/lrmhph000001npvy-att/ur_20210113_osaka_kyotei.pdf)

## 丑年職員からのメッセージ

笑顔で丁寧に患者さんの  
看護ができるよう頑張ります。

看護部 O・N

コロナウイルスに負けず、  
患者さんも自分自身も  
ギュー（牛）っと守る！！

看護部 K・E

基礎・臨床ともに  
優れた医療人を目指します。

リハビリ科 S・T

忙しい中でも笑顔を忘れず、  
心も体も健康に過ごしたいです。

医療連携室 N・K



### <お知らせ>

2020年12月より看護師のユニフォームが変わりました。  
男性は紺色、女性は青色です。



# 飲み込む力を鍛える「嚥下体操」

平成30年度の主な死因の構成割合で、7位に誤嚥性肺炎（2.8%）が挙がっています。誤嚥性肺炎というのは、食事の食べ物、あるいは唾液が誤って気管から肺に入り込んでしまい、肺で炎症が起きる病気です。高齢になると、食べ物や唾液を飲み込む力が低下し、誤嚥性肺炎を発症しやすくなります。食べ物を飲み込む力を鍛える為、簡単な体操を食前に取り入れてみるのはいかがでしょうか？ またノドの筋肉を鍛えたり、大声を出すことも誤嚥性肺炎の予防には効果的です。

## ① 食べる前の準備体操

毎日1セット実施 (1~2分)

意義/頸部の緊張をとり嚥下をスムーズにする

### ① 深呼吸

(数回繰り返す)



### ② 首を回す



### ③ 首を倒す



### ④ 肩を上げ下げする



### ⑤ 両手をあげ、軽く背伸びする



### ⑥ 頬を膨らませたりすぼめたり

(2~3回繰り返す)



### ⑦ 舌で左右の口角に触れる

(2~3回繰り返す)



### ⑧ 息がのどに当たるように強くすって止め、三つ教えて吐く



### ⑨ パパパ ラララ カカカカとゆっくり言う



### ⑩ 深呼吸

(数回繰り返す)



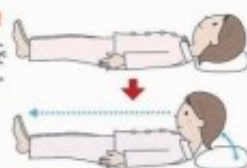
## ② 嚥下おでこ体操 (または頸部挙上訓練)

毎日1セット実施 (5~10分)

意義/嚥下筋力強化

### 頸部挙上訓練

仰臥位で肩を床につけたまま、頭だけをつま先が見えるまでできるだけ高くあげる。



### 嚥下おでこ体操

額に手を当てて抵抗を加えおへそをのぞきこむ。

## ③ 発音訓練

毎日1セット実施 (5~10分)

意義/声門閉鎖の改善、呼吸筋力強化訓練

あ〜!

カラオケでも朗読でもよい。なるべく大きな声を出す。



## ④ ペットボトルブローイング

毎日1セット実施 (5~10分)

意義/嚥下改善、呼吸改善、鼻咽腔閉鎖機能・口唇閉鎖機能改善

ペットボトルに穴を開けてストローをさし、ぷくぷくと吹く。



## ⑤ アクティブサイクル呼吸法

毎日1セット実施 (5~10分)

意義/咳嗽力強化、喉頭感覚改善



リハビリテーション科

# 地域講演会の開催について

新型コロナウイルスの感染予防のために、地域講演会の開催を当面の間休止いたします。再開の際には、皆さまにお知らせいたします。よろしくお願いいたします。

# 地域医療連携室は患者さんやご家族、地域の相談窓口です

私たちはこんな相談に応じています。

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 医療費や生活費などの経済的な問題    | 4. 在宅医療・介護・復職・復学などの問題 |
| 2. 療養に伴って生じる社会的、心理的な問題 | 5. かかりつけ医についての相談      |
| 3. 入院・転院・福祉施設入所の相談・調整  | 6. 病院に対する要望や苦情        |
- など
- 月曜日～金曜日 9:00～17:00  
土曜日 9:00～12:00